研究成果リスト (紀要・プロシーディングス・その他科学雑誌 (査読なし)

令和 7 年 3 月 31 日現在

(2025 年)

1. 安邊啓明 (印刷中)：広域応力場を考慮した流体供給源周辺の応力場のモデル化, 令和6年度 放射性廃棄物共通技術調査等事業 放射性廃棄物に係る重要な基礎的技術に関する研究調査の支援等に関する業務 報告書, 別添資料 1 実施研究報告, 研究報告 7.

2. Malinverno, A., Zitellini, N., Estes, E. R., and the Expedition 402 Scientists (2025) : Tyrrhenian Continent–Ocean Transition: Tyrrhenian Magmatism and Mantle Exhumation (TIME), International Ocean Discovery Program Expedition 402 Preliminary Report.

3. 三ツ口丈裕, 山野博哉 (2025) :『地球環境に対する人類活動の影響』,『地球温暖化と造礁サンゴの北上』, 全地球史 ： 世界で集めた地球史のかけら（静岡県・ふじのくに地球環境史ミュージアム編）, 59-60.

4. 西山成哲, 中嶋 徹, 島田耕史, 丹羽正和 (印刷中) ：伏在する活断層の検出の試み―地層処分における地質環境の長期安定性評価技術の高度化に向けて―, 原子力学会誌 解説.

(2024 年)

1. 安邊啓明 (2024)：広域応力場を考慮した流体供給源周辺の応力場のモデル化, 令和5 年度 放射性廃棄物共通技術調査等事業 放射性廃棄物に係る重要な基礎的技術に関する研究調査の支援等に関する業務 報告書, 別添資料 1 実施研究報告, 研究報告 7.

2. 藤田奈津子, 神野智史, 松原章浩, 木村健二 (2024)：JAEA-AMS-TONO における超小型 AMS の開発, 放射線 **48(4)**, 137-138.

3. 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分（齋藤）陽子, 加藤元久, 岡部宣章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢 均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2024) ： JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状（平成 30 年度）, 第 32 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 57-59.

4. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 髙橋悠人, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 島田顕臣, 島田耕史, 大前昭臣 (2024) ：

JAEA-AMS-TONO の現状（令和 5 年度），第 24 回 AMS シンポジウムプロシーディングズ, O-22.

5. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 木村健二, 石丸恒存, 島田顕臣, 高橋悠人, 島田耕史 (2024) : JAEA-AMS-TONO の現状(2022), 第 35 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, 17-19.

6. 福田将眞, 岡本 晃, Kohn, B., 新正裕尚, 末岡 茂, 田上高広 (2024) : 四国山地における低温領域の熱年代データの空間分布とその解釈, フィッション・トラックニュースレター, **37**, 8-10.

7. 松原章浩, 藤田奈津子, 木村健二, 三宅正恭, 磯崎信宏 (2024) : 加速器質量分析の新しい同重体分別技術の開発に向けたコヒーレント共鳴励起の観測, 第 32 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集 93-95.

8. Nagata, M., Fukuda, F., Sueoka, S., Nakajima, T., Yokoyama, T., Wall, C.J., Danhara, T., Iwano, H., Tagami, T. (2024) : Potential of the young age reference materials: CA-ID-TIMS U–Pb dates of Cenozoic zircons in Japan, フィッション・トラックニュースレター, **37**, 11-13.

9. 丹羽正和, 石原隆仙, 細矢卓志 (2024) : 3D 画像からの簡便な割れ目情報の抽出手法, 検査技術.

10. 末岡 茂 (2024) : 日本列島の若い山地における低温熱年代法の適用性, フィッション・トラックニュースレター, **37**, 1-5.

(2023 年)

1. 福田将眞, 鏡味沙耶 (2023) : (U-Th)/He 法に係る湿式分析法の検討：検量線法による親核種濃度の定量の試み, フィッション・トラックニュースレター, **36**, 14-18.

2. 梶田侑弥, 末岡 茂, 谷 篤史, 磯谷舟佑, 田上高広 (2023) : 日本の山岳地域における ESR 熱年代学の適用―試料の前処理による ESR 信号への影響の評価―, フィッション・トラックニュースレター, **36**, 6-8.

3. 長田充弘, 中嶋 徹, 福田将眞, 末岡 茂, 八木公史, 横山立憲 (2023) : 熱史からみたジルコンの標準試料への適性評価：石川県鷲走ヶ岳層の例, フィッション・トラックニュースレター, **36**, 9-13.

4. 末岡 茂, 河上哲生, 鈴木康太, 鏡味沙耶, 横山立憲, 芝崎文一郎, 長田充弘, 山崎

あゆ, 東野文子, King, G.E., 塚本すみ子, Herman, F., 田上高広 (2023) : 鮮新世～第四紀深成岩体の固結年代・深度に基づいた飛騨山脈黒部地域の削剥史, フィッション・トラックニュースレター, **36**.

5. 山本悠介, 渡邊隆広, 丹羽正和, 島田耕史 (2023) : 東濃地科学センターにおける熱分解型元素分析装置/安定同位体比質量分析装置を用いた岩石試料等の水素と酸素の安定同位体比測定, JAEA-Testing 2023-003.

(2022 年)

1. 藤田奈津子, 三宅正恭, 松原章浩, 石井正博, 渡邊隆広, 神野智史, 西尾智博, 小川由美, 山本悠介, 木村健二, 島田顕臣, 石丸恒存 (2022) : JAEA-AMS-TONO の現状 (令和 4 年度), 第 23 回 AMS シンポジウム報告集, p.1-4.

2. 福田将眞, 鏡味沙耶 (2022) : (U-Th)/He 法のための高温加圧酸分解によるジルコンの完全溶解の試み, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.11-14.

3. 福田将眞, Kohn, B.P., 末岡　茂, 檀原　徹, 岩野英樹, 田上高広 (2022) : ジルコン (U-Th)/He 法の年代標準試料の探求（続報）: 複数のジルコン試料における年代学的検討, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.7-10.

4. 神野智史, 藤田奈津子, 田沼肇 (2022) : 塩素-36 年代測定における同重体干渉抑制のためのイオンファネル反応セルの開発, 第 23 回 AMS シンポジウム報告集, p.89-92.

5. 梶田侑弥, 末岡　茂, 福田将眞, 田上高広 (2022) : 北上山地における熱年代学データの解釈, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.19-21.

6. 北村晃寿, 岡嵜颯太, 近藤 満, 渡邊隆広, 中西利典, 堀 利栄, 池田昌之, 市村康治, 中川友紀, 森 英樹 (2022) : 静岡県熱海市伊豆山地区の土砂災害現場の盛土と土石流堆積物の地球化学・粒子組成分析, 静岡大学地球科学研究報告, **49**, p.73-86.

7. 平塚晋也, 浅森浩一, 雑賀　敦 (2022) : S 波スプリッティング解析を用いたスラブ起源流体の移行経路推定の試み, JAEA-Research, 2022-002, 38p.

8. 南　沙樹, 末岡　茂, 福田将眞, 長田充弘, Kohn, B.P., 横山立憲, 鏡味沙耶, 梶田侑弥, 田上高広 (2022) : 熱年代学的手法に基づく谷川岳地域の熱史・削剥史の推定, フィッション・トラックニュースレター, **34**, p.22-26.

9. Mitsuguchi, T., Minakata, K., Sugihara, K., Hiraoka, M., Yoshida, M., Saito-Kokubu, Y. (2022) : Mineral phase analysis of various marine-species shells and skeletons collected in Japan: Implications for marine biominerals, bioRciv, 2022.11.01.

10. 長田充弘, 福田将眞, 末岡　茂, 中嶋　徹, 梶田侑弥, 南　沙樹, 岡本　晃, 田上高広 (2022) : 照来層群歌長流紋岩から得られたジルコン U–Pb 年代, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.15-18.

11. 中嶋 徹, 福田将眞, 長田充弘, 檀原 徹, 岩野英樹, 末岡 茂 (2022) : バデリアイトのフィッション・トラック年代測定に向けて:エッチング実験の結果とその考察, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.34-36.

12. 西山成哲, 後藤　翠, 塚原柚子, 川村　淳, 梅田浩司, 丹羽正和 (2022) : GIS を用いた火山体の地形解析によるマグマ供給系の推定方法（受託研究）, JAEA-Testing, 2022-003, 51p.

13. 丹羽正和, 下茂道人, 島田耕史, 後藤 翠 (2022) : キャビティーリングダウン法による携帯型装置の車載測定に基づくメタン漏出の効率的な検出手法の検討, JAEA-Research 2022-004.

14. 三枝博光, 松岡稔幸, 丹羽正和, 笹尾英嗣, 早野　明 (2022) : オールジャパンでとりくむ地層処分のいま 第 2 回 地層処分に関する地質環境評価技術, Atomoz, **64**, p.46-50.

15. 下茂道人, 丹羽正和, 宮川和也, 安江健一, 戸野倉賢一, 徳永朋祥 (2022) : 背斜軸周辺の大気中メタンアノマリについて, 深田地質研究所年報, **23**, p.21-34.

16. 末岡　茂, 岩野英樹, 檀原　徹, 岡本　晃, 田上高広 (2022) : 低温熱年代学に基づくスラブ起源流体活動に伴う熱異常検出の試み, フィッション・トラックニュースレター, **35**, p.1-4.

17. 山本悠介, 渡邊隆広, 丹羽正和, 島田耕史 (2022) : 東濃地科学センターにおけるポータブル蛍光エックス線分析装置を用いた岩石試料等の主要元素及び微量元素の定量分析; エックス線照射径 3mm での全岩化学分析手法, JAEA-Testing, 2021-003, 58p.

(2021 年)

1. 福田将眞, 末岡茂 (2021): ミクロからマクロへ:鉱物の年代測定から山地の形成過程に迫る－低温領域の熱年代学的手法から見えた奥羽脊梁山地の隆起形態－, 成果普及情報誌 8-7, 86p.

2. 福田将眞, 末岡　茂, 菅野瑞穂, Kohn, B.P., 田上高広 (2021) : ジルコン(U-Th)/He 法の年代標準試料の探求:仁左平デイサイトにおける年代学的検討, フィッション・トラックニュースレター, **34**, p.9-13.

3. 鏡味沙耶, 横山立憲, 梅田浩司 (2021) : 東濃地科学センターにおける火山ガラスの化

学組成分析手法 -EPMA を用いた主要元素分析及び LA-ICP-MS による微量元素分析 -, JAEA-Testing, 2021-001, 49p.

4. 鏡味沙耶 (2021) : Geochemical and chronological studies of basaltic eucrites: Implications for decoding the thermal history of a terrestrial planet, Vesta, 地球化学, **55**（**2**）, p.57-58.

5. 梶田侑弥, 末岡 茂, 福田将眞, 横山立憲, 鏡味沙耶, 長田充弘, 田上高広 (2021) : アパタイトフィッション・トラック熱年代学に基づく北上山地の削剥史の推定, フィッション・トラックニュースレター, **34**, p.17-18.

6. 菅野瑞穂, 末岡 茂, 福田将眞 (2021) : 東濃地科学センターにおける鉱物試料の (U-Th)/He 年代測定（He 測定編）, JAEA-Testing, 2020-010, 38p.

7. 中嶋 徹, 福田将眞, 小形 学, 末岡 茂 (2021) : 17th International Conference on Thermochronology の参加報告, フィッション・トラックニュースレター, **34**, p.25-26.

8. 中西利典, 奥野 充, 山崎圭二, Hong, W., 藤田奈津子, 中村俊夫, 堀川義之, 佐藤鋭一, 木村治夫,堤 浩之（2021）: 島原半島北部の唐比低地における湿地堆積物の形成過程, 名古屋大学年代測定研究, 5, p.38-43.

9. 南 沙樹, 長田充弘, 末岡 茂, 福田将眞, 梶田侑弥, 小北康弘, 鏡味沙耶, 横山立憲, 田上高広 (2021) : ジルコン U-Pb 年代測定による谷川岳地域に露出する中新世～鮮新世花崗閃緑岩の貫入年代の推定, フィッション・トラックニュースレター, **34**, p.4-8.

10. 宮川和也, 下茂道人, 丹羽正和, 天野健治, 徳永朋祥, 戸野倉賢一 (2021) : 大気環境中のメタンと二酸化炭素濃度変化の関係に着目した地下起源ガスの判別, 深田地質研究所年報, **22**, p.139-153.

11. 下茂道人, 丹羽正和, 宮川和也, 天野健治, 戸野倉賢一, 徳永朋祥 (2021) : 大気中メタンの分布に基づく断層周辺のガス移行経路の推定, 深田地質研究所年報, **22**, p.119-137.

(2020 年)

1. Fujita, N., Matsubara, A., Miyake, M., Watanabe, T., Saito-Kokubu, Y., Kato, M., Okabe, N., Isozaki, N., Ishizaka, C., Nishio, T., Nishizawa, A., Shimada, A. and Ogata, N. (2020) : Present status of the JAEA-AMS-TONO in 2019, Proceedings of the 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium and the 22nd JapanAccelerator Mass Spectrometry symposium (EA-AMS 8 & JAMS-22), 34-36.

2. 後藤　翠, 村上雅紀, 酒井隆太郎, 照沢秀司, 末岡　茂 (2020)：地震及び断層活動による二次的影響に関する知見の整理（受託研究）, JAEA-Review 2020-003, 60p.

3. 後藤　翠, 佐々木亮道, 小松哲也, 三輪敦志, 照沢秀司, 楮原京子, 島田耕史 (2020)：断層変位地形が不明瞭なひずみ集中帯におけるリニアメントカタログの作成―南九州せん断帯における事例―（受託研究）, JAEA-Resaerch 2020-013, 88p.

4. 梶田侑弥, 福田将眞, 末岡　茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, Kohn, B.P., 田上高広 (2020)：熱年代学を用いた北上山地の隆起・削剥史の推定, フィッション・トラックニュースレター, **33**, p.28-30.

5. Koarashi, J., Atarashi-Andoh, M., Nagano, H., Sugiharto, U., Saengkorakot, C., Suzuki, T., Saito-Kokubu, Y., Fujita, N., Kinoshita, N., Nagai, H., Liang, N., Matsuzaki, H., Katata, G. (2020)：Practical Guide on Soil Sampling, Treatment, and Carbon Isotope Analysis for Carbon Cycle Studies, 日本原子力研究開発機構, JAEA-Technology 2020-012, 53p.

6. 小林侑生, 末岡　茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2020)：伊豆弧の衝突と南部フォッサマグナ地域の山地形成：低温領域の熱年代学による知見, フィッション・トラックニュースレター, **33**, p.25-27.

7. Matsubara, A., Fujita, N. and Kimura, K. (2020)：A Study of Surface Stripper for the AMS System with a Footprint below 2 m × 2 m, Proceedings of the 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium and the 22nd Japan Accelerator Mass Spectrometry symposium (EA-AMS 8 & JAMS-22), p.57 - 59.

8. 松原章浩, 藤田奈津子, 石井邦和, 木村健二 (2020)：加速器質量分析装置の小型化に向けたイオンチャネリングの応用, 応用物理学会放射線分科会誌, **45(3)**, p.134-138.

9. Nakanishi, T., Niwa, M., Okabe, N., Kato, M., Matsubara, A. and Fujita, N. (2020)：Marine reservoir effects in transgressive sediments from the Miyazaki Plain, southeast coast of Kyushu, Japan, Proceedings of 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.

10. Nakanishi, T., Hong, W., Shigeno, K. and Nanayama, F. (2020)：Radiocarbon age offsets of plants and shells in the Holocene sediments from the Lake Harutori, Pacific coast of Hokkaido, northeastern Japan, Proceedings of the 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium.

11. 丹羽正和 (2020)：野外調査に基づく断層運動の影響に関する研究事例の紹介, フィッション・トラックニュースレター, **33**, p.22-24.

12. 丹羽正和, 植木忠正, 星　博幸, 杉崎雄一 (2020) : 変質した火山岩の年代測定のための岩石記載・化学組成・前処理に関する検討, JAEA-Research 2020-003, 33p.

13. Saito-Kokubu, Y., Nisio, T. Fujita, N. and Matsubara, A. (2020) : Radiocarbon dating of a shrine pavilion and offerings at Abushina shrine in Gifu prefecture, Japan, 第 22 回 AMS シンポジウム報告集, p.91-93.

14. 島田耕史, 末岡　茂 (2020) : FT 自動計測装置を用いたアパタイト FT 密度測定作業時間と結果, フィッション・トラックニュースレター, **33**, p.19-21.

15. 下茂道人, 横井　悟, 丹羽正和, 松岡俊文, 徳永朋祥 (2020) : 大気中のメタン濃度アノマリに基づく石油構造地質評価, 深田地質研究所年報, **21**, p.15-34.

16. 末岡　茂, 島田耕史, 菅野瑞穂, 横山立憲 (2020) : 原子力機構における FT および (U-Th)/He 分析施設の現状と展望, フィッション・トラックニュースレター, **33**, p.15-18.

(2019 年)

1. Balkanska, E., Georgiev, S., Kounov, A., Tagami, T. and Sueoka, S. (2019) : Fission-track analysis using LA-ICP-MS: laboratory procedures adopted at joint Low-temperature Thermochronology laboratory at Sofia University and Geological Institute, BAS. Review of the Bulgarian Geological Society, **80(3)**, p.53-55.

2. 藤沢純平, 南　雅代, 國分(齋藤)陽子, 松崎浩之 (2019) : 琵琶湖に流入する安曇川、野洲川の河床堆積物中 ^{10}Be 濃度の粒径依存性, 第 20 回 AMS シンポジウム報告集 (JAEA-Conf 2018-002), p.91-94.

3. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 加藤元久, 岡部宜章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢　均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (印刷中) : JAEA-AMS-TONO の現状（平成 30 年度）, 第 21 回 AMS シンポジウム報告集.

4. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分（齋藤）陽子, 石丸恒存, 松原章浩, 西尾智博, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢　均, 西澤章光 (2019) : JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状(平成 28 年度), 第 30 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集 (JAEA-Conf 2018-003), p.96-99.

5. 福田将眞, 末岡　茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019) : 高空間解像度の熱年代マッピングによる奥羽脊梁山地の隆起形態の推定:アパタイトフィッション・トラック法による展開, フィッション・トラックニュースレター, **32**, p.12-16.

6. 梶田侑弥, 福田将眞, 末岡　茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広

(2019)：東北日本弧前弧域における熱年代学的研究:アパタイト FT 年代予報, フィッション・トラックニュースレター, **32**, p.6-7.

7. 小林侑生, 末岡　茂, 福田将眞, 長谷部徳子, 田村明弘, 森下知晃, 田上高広 (2019)：低温領域の熱年代学的手法に基づく南部フォッサマグナ地域の山地の隆起・削剥史解明. フィッション・トラックニュースレター, **32**, p.8-11.

8. 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 松原章浩, 西澤章光, 西尾智博, 三宅正恭, 石丸恒存, 渡邊隆広, 尾方伸久, 島田顕臣, 石坂千佳, 岡部宣章, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢均, (2019)：JAEA-AMS-TONO の 20 年のあゆみ, 第 20 回 AMS シンポジウム報告集, p.5-8.

9. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 磯崎信宏 (2019)：イオンチャネリングを利用した同重体分別技術の開発, 第 20 回 AMS シンポジウム報告集, p.68-71.

10. 松原章浩, 藤田奈津子, 三宅正恭, 磯崎信宏, 西澤　章光 (2019)：チャネリング条件近傍での荷電分布の取得, 第30回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, p135-139.

11. 奈良郁子, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 堀内一穂 (2019)：チベット高原・プマユムツォ湖周辺岩石の ^{10}Be 測定結果, 第20回AMSシンポジウム報告集(JAEA-Conf 2018-002), p.124-127.

12. 奈良郁子, 松中哲也, 渡邊隆広, 山田和芳, 安田喜憲 (印刷中)：青森県・小川原湖堆積年代と白頭山噴火年代との比較, 第 21 回 AMS シンポジウム報告集.

13. 西尾智博, 三宅正恭, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 松原章浩 (印刷中)：ビーム調整用試料としての活性炭素の利用, 第 21 回 AMS シンポジウム報告集.

14. 岡部宣章, 藤田奈津子, 松原章浩, 三宅正恭, 西尾智博, 西澤章光, 磯崎信宏, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子 (2019) : JAEA-AMS-TONO における ^{129}I/^{127}I 測定の整備, 第 20 回 AMS シンポジウム報告集(JAEA-Conf 2018-002), p.51-54.

15. 下茂道人, 丹羽正和, 天野健治, 徳永朋祥, 戸野倉賢一, 松岡俊文, セバスチャン・ビロード (2019)：キャビティーリングダウン分光法を用いた大気中微量メタンガス測定による活断層調査, 深田地質研究所年報, **20**, p.45-54.

16. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 石坂千佳, 松原章浩, 西尾智博, 三宅正恭, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢　均, 西澤章光 (印刷中)：JAEA-AMS-TONO における自動グラファイト調製装置 AGE3 の現状　―少量試料の放射性炭素年代測定を目的とした前処理手法の検討―, 第 21 回 AMS シンポジウム報告集.

17. 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 藤田奈津子, 石坂千佳, 西尾智博, 松原章浩, 三宅正恭, 加藤元久, 磯崎信宏, 虎沢 均, 西澤章光, 石丸恒存 (2019) : JAEA-AMS-TONO における自動グラファイト調製装置 AGE3 の現状, 第 20 回 AMS シンポジウム報告集 (JAEA-Conf 2018-002), p.116-119.

18. 横山立憲 (2019) : レーザーアブレーション試料導入法を用いた炭酸塩鉱物の局所年代測定, Isotope News, **764**, p.11-14.

(2018 年)

1. 藤田奈津子, 三宅正恭, 渡邊隆広, 國分(齋藤)陽子, 松原章浩, 加藤元久, 岡部宜章, 磯崎信宏, 石坂千佳, 虎沢 均, 西尾智博, 西澤章光, 島田顕臣, 尾方伸久 (2018) : JAEA-AMS-TONO 加速器施設の現状(平成 29 年度), 第 31 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告集, p.92-95.

2. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2018) : アパタイト FT 法に基づいた東北日本弧における隆起・削剥史の推定:島弧山地形成過程の解明を目指して, フィッション・トラックニュースレター, **31**, p.13-16.

3. 丹羽正和, 野村勝弘, 日浦祐樹 (2018) : 海陸境界付近の断層の分布・特徴、及びその調査・評価技術に関する知見の整理, JAEA-Review 2018-010, 40p.

4. 末岡 茂, 郁芳隋徹, 長谷部徳子, 田上高広 (2018) : 茂住祐延断層のジルコン FT 熱年代解析:熱史モデルによる再検討, フィッション・トラックニュースレター, **31**, p.9-12.

5. 植木忠正, 丹羽正和 (2018) : 中部日本東濃地域における珪長質火成岩類の記載岩石学データ, JAEA-Data/Code 2018-005, 94p.

6. 代永佑輔, 清水麻由子, 佐野直美, 植木忠正, 吉川清盛, 丹羽正和 (2018) : 東濃地科学センターにおける電子プローブマイクロアナライザを用いた化学組成分析に基づき重鉱物組成を迅速に推定するための試料処理及び分析手順, JAEA-Testing 2018-001, 29p.

(2017 年)

1. 福田将眞, 末岡 茂, 長谷部徳子, 田村明弘, 荒井章司, 田上高広 (2017) : 低温領域の熱年代学的手法を用いた東北日本弧における隆起・削剥史の解明, フィッション・トラックニュースレター, **30**, p.7-10.

2. 石丸恒存, 梅田浩司, 安江健一, 國分(齋藤)陽子, 丹羽正和, 浅森浩一, 渡邊隆広,

横山立憲, 藤田奈津子, 清水麻由子, 濱 友紀, 雑賀 敦 (2017) : 地質環境の長期安定性に関する研究,年度報告書; 平成 27 年度, JAEA-Research 2016-023, 91p.

3. 加藤利弘, 岩月輝希, 西尾智博 (2017) : 地下水中の溶存無機炭素を対象とした放射性炭素同位体測定のためのガス化回収法の適用性検討, JAEA-Technology 2017-009, 30p.

4. 熊谷秀平, 梅田浩司, 鎌滝孝信, 小岩直人, 藤田奈津子 (2017) : 青森県鰺ヶ沢町にみられるイベント堆積物, 東北地域災害科学研究, **53**, p.7-14.

5. 丹羽正和, 黒澤英樹, 小坂英輝, 生田正文, 高取亮一 (2017) : 宮崎平野北部の正断層(川南断層)に係る地形・地質データ, JAEA-Data/Code, 2017-009, 71p.

6. 野村勝弘, 谷川晋一, 雨宮浩樹, 安江健一 (2017) : 日本列島の過去約十万年間の隆起量に関する情報整理, JAEA-Data/Code 2016-015, 49p.

7. 清水麻由子, 佐野直美, 柴田健二 (2017) : 東濃地科学センターにおける蛍光 X 線分析装置を用いた岩石試料の主要元素および微量元素の定量分析, JAEA-Testing 2016-004, 40p.

8. 清水麻由子, 佐野直美, 鈴木和博 (2017) : JAEA 東濃地科学センターの JEOL JXA-8530F FE-EPMA を用いた鉱物分析と年代測定, 名古屋大学年代測定研究, **1**, p.36-43.

9. 末岡 茂 (2017) : 第 41 回日本フィッション・トラック研究会実施報告, フィッション・トラックニュースレター, **30**, p.30-32.

10. 末岡 茂 (2017) : 日本アルプスの形成に関する熱年代学的研究, フィッション・トラックニュースレター, **30**, p.4-6.

11. 末岡 茂 (2017) : 【巻頭言】FT ニュースレター第 30 号記念号に寄せて, フィッション・トラックニュースレター, **30**, p.1.

12. 田村 肇, 柴田健二, 高橋直哉, 丹羽正和 (2017) : 東濃地科学センターにおける断層ガウジ試料のカリウム-アルゴン(K-Ar)年代測定, JAEA-Testing 2017-001, 52p.

(2016 年)

1. Hama, K., Sasao, E., Iwatsuki, T., Onoe, H., Sato, T., Fujita, T., Sasamoto, H., Matsuoka, T., Takeda, M., Aoyagi, K., Nakayama, M., Miyakawa, K., Ohyama, T., Yasue, K., Asamori, K., Niwa, M., Osawa, H., Ito, H., Nagae, I., Natsuyama, R., Senba, T. and

Amano, K. (2016) : Synthesized research report in the second mid-term research phase, Mizunami Underground Research Laboratory Project, Horonobe Underground Research Laboratory Project and Geo-stability Project (Translated document), JAEA-Review 2016-014, 274p.

2. 石丸恒存, 安江健一, 國分(齋藤)陽子, 丹羽正和, 浅森浩一, 渡邊隆広, 横山立憲, 藤田奈津子, 清水麻由子, 濱 友紀 (2016) : 地質環境の長期安定性に関する研究 年度計画書 (平成 28 年度), 日本原子力研究開発機構, JAEA-Review 2016-016, 44p.

3. 丹羽正和, 石丸恒存, 島田耕史 (2016) : 地球科学の原子力安全への貢献 (その 2) 破砕物質の鉱物・化学分析と断層の活動性評価, 日本原子力学会誌, **58**, 167-171.

4. 丹羽正和 (2016) : 地層処分と地質環境の長期安定性:地震・断層活動に伴う地下水流動系の変化に関する検討事例, 原子力バックエンド研究, **23**, 93-97.

5. 末岡 茂, 島田耕史 (2016) : 地下の高温地質環境で動いた破砕帯の活動年代の推定ーフィッション・トラック年代測定法を用いた熱史推定による試みー, 原子力機構の研究開発成果, 7-6s.

6. 末岡 茂, 島田耕史, 石丸恒存, 丹羽正和, 安江健一, 梅田浩司, 檀原 徹, 岩野英樹 (2016) : 黒雲母の塑性変形を伴う破砕帯の活動年代:FT 熱年代解析による制約, フィッション・トラックニュースレター, **29**, 5-7.

7. 植木忠正, 田辺裕明, 丹羽正和, 石丸恒存, 島田耕史 (2016) : 花崗岩中に発達する粘土脈の観察・分析データ, JAEA-Data/Code 2016-010, 292p.

8. 梅田浩司, 浅森浩一 (2016) : 地球科学の原子力安全への貢献 (その 1) 地球科学からみた地殻流体と地層処分技術への応用, 日本原子力学会誌, **58**, 110-114.

(2015 年)

1. 福田徹也, 棚瀬充史, 梅田浩司, 小林哲夫 (2015) : 黒島火山の活動時期の再検討と南西諸島火山岩の K-Ar 年代の総括, 月刊地球, **37**, 197-203.

2. 濱 克宏, 水野 崇, 笹尾英嗣 ,岩月輝希, 三枝博光, 佐藤稔紀, 藤田朝雄, 笹本 広, 松岡稔幸, 横田秀晴, 石井英一, 津坂仁和, 青柳和平, 中山 雅, 大山卓也, 梅田浩司, 安江健一, 浅森浩一, 大澤英昭, 小出 馨, 伊藤洋昭, 長江衣佐子, 夏山諒子, 仙波 毅, 天野健治 (2015) : 第 2 期中期計画期間における研究成果取りまとめ報告書―深地層の研究施設計画および地質環境の長期安定性に関する研究―, 日本原子力研究開発機構, JAEA-Research 2015-007, 269p.

3. 松原章浩 (2015) : 原子衝突の新しい風, 原子衝突学会誌, **12**, 126.

4. 南 雅代, 高橋 浩, 荒巻能史, 國分(齋藤)陽子, 伊藤 茂, 中村俊夫 (2015) : 水試料の ^{14}C 比較プログラム (RICE-W) -沈殿法の検討-, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, **26**, 132-137.

5. 奥野 充, 長岡信治, 國分(齋藤)陽子 (2015) : 五島列島, 福江島の鬼岳降下スコリア直下の土壌試料の放射性炭素年代, 月刊地球, **37**, 119-121.

6. 田上高広, 山田国見 (2015) : (U-Th)/He 年代学の現状と考古学的年代スケールの応用, 月刊地球, **37** (印刷中).

7. 柴田健二, 清水麻由子, 鈴木和博 (2015) : JAEA 土岐地球年代学研究所の JEOL FE-EPMA - JXA-8530F - を用いたジルコンの CHIME 年代測定名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, **26**, 126-131.

8. 梅田浩司, 安江健一, 國分(齋藤)陽子, 丹羽正和, 浅森浩一, 藤田奈津子, 清水麻由子, 松原章浩, 田村 肇, 横山立憲, 渡邊隆広, 徳安佳代子, 濱 友紀 (2015) : 地質環境の長期安定性に関する研究 年度計画書 (平成 27 年度), 日本原子力研究開発機構, JAEA-Review 2015-019, 42p.

9. 梅田浩司, 安江健一, 國分(齋藤)陽子, 丹羽正和, 浅森浩一, 藤田奈津子, 清水麻由子, 島田顕臣, 松原章浩, 田村 肇, 横山立憲, 渡邊隆広, 徳安佳代子, 濱 友紀 (2015) :「地質環境の長期安定性に関する研究」基本計画; 第 3 期中長期計画(平成 27 年度～平成 33 年度), 日本原子力研究開発機構, JAEA-Review 2015-012, 43p.